



9/28  
(月)

## 掃海艇「ながしま」が勇退 わが国の防衛に貢献



ながしま勇退の記念品を川添町長に贈呈

長島にちなんで名付けられた海上自衛隊の掃海管制艇「ながしま」が24年の任務を遂行し、役目を終えることとなりました。

掃海管制艇は日本の島のうち、ひらがな4文字の島名を命名するよう定められており、同艇は平成8年に就役後、呉や舞鶴、函館

を母港として国の防衛の一翼を担ってきました。

ながしまの勇退に際して9月28日、串木野海上保安部が川添町長を訪問し、無事任務を全うすることができた証として記念品を贈呈しました。



平成21年7月、指江港沖に停泊したながしま

9/30  
(水)

## 杉ノ段招魂祭 恒久平和誓う

戦没者を追悼する杉ノ段招魂祭が9月30日、杉ノ段招魂墓地でしめやかに営まれました。

遺族や団体関係者が参列して神事が執り行われ、川添町長が「戦争の記憶を風化させぬよう、次の世代へ継承していく」と慰霊の言葉を述べました。町遺族会の濱畑順一会長が「今後も恒久平和が続くことを願う」と悲劇の歴史を繰り返さないことを誓いました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大を防ぐた

めに今回は参加者の人数を制限し、子どもたちの奉納相撲などは中止となりました。



平和を誓う濱畑会長

9/30  
(水)

## 城川内小がブリの養殖場見学 ふるさとの特産学ぶ

城川内小学校(海江田徹男校長・94人)では、9月30日、5年生21人を対象にブリの養殖場見学を行いました。

今回は都丸水産の協力のもと行われ、児童らは用意された漁船に分乗。いけすから粒状の餌を投げ入れるとたくさんのブリが飛び跳ね、児童らは「わあー」とびっくり。いけすを管理する竹山治明さんからブリがどのように育てられ全国や海外へ出荷されているかを学び、地元が誇る特産品への理解を深めました。

<sup>しゅんすい</sup>宮崎春翠君は「ブリの餌やりは迫力があった」と笑顔を見せました。浦底湾沖へ向かう途中では、イルカが4頭現れ、船の周りでジャンプしたり並んで泳いだりと、児童たちを楽しませました。



ブリに餌やりする児童